

日米投信週次概況(2023年10月25日週)

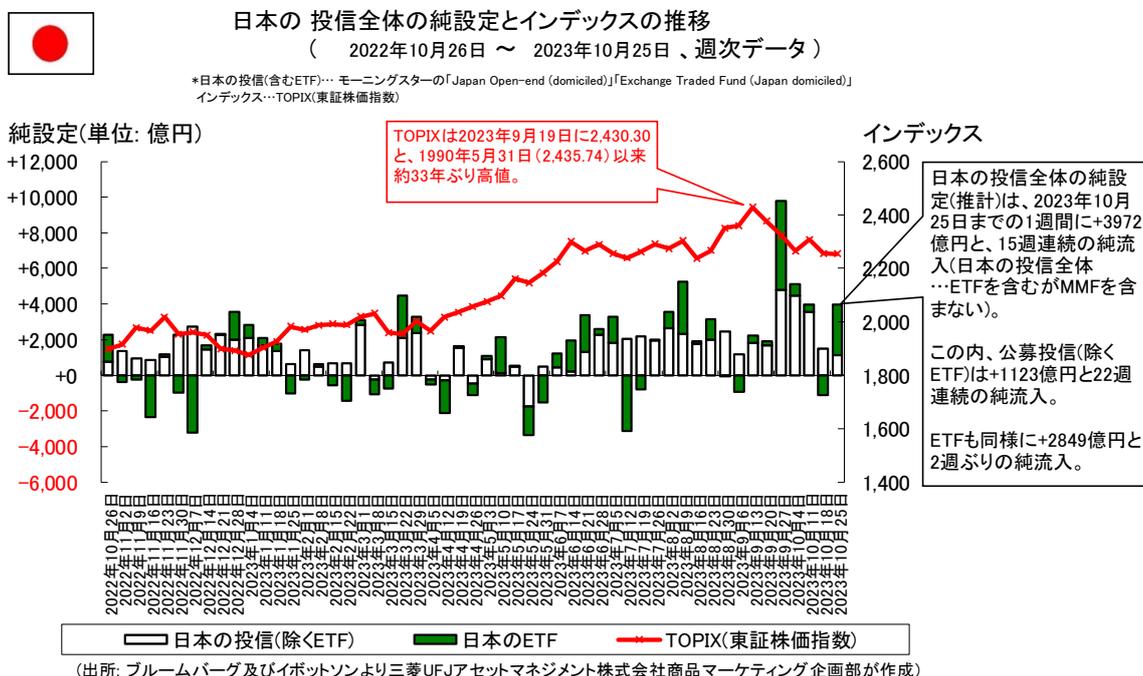
米国ウォール街で今、最もホットな投資の一つと言われる
 “ボロボロ”の長期国債ファンドに過去最大級の純流入！
 ～モーニングスターによるとESGファンドが2020年以降初の純流出～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
 窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本の投信は15週連続の純流入！ 日本株やグローバル株(インド株含む)に純流入!!.....p.1
- 米国の投信が総じて純流出の中、ウォール街で今、最もホットな投資の一つと言われる“ボロボロ”の長期国債ファンドに過去最大級の純流入！～モーニングスターによるとESGファンドが2020年以降初の純流出～.....p.3

●日本の投信は15週連続の純流入！ 日本株やグローバル株(インド株含む)に純流入!!

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2023年10月25日までの1週間に+3972億円と、15週連続の純流入(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**公募投信(除くETF)は+1123億円と22週連続の純流入**。ETFも同様に+2849億円と2週ぶり純流入となった。



TOPIXは2023年10月25日に2254.40と、2023年9月19日に付けた(2,430.30という1990年5月31日以来)約33年ぶり高値から-7.2%下。日経平均株価も2023年10月25日に3万1269.92円と、2023年7月3日に付けた(3万3,753.33円という1990年8月1日以来)約33年ぶり高値から-7.4%下である。

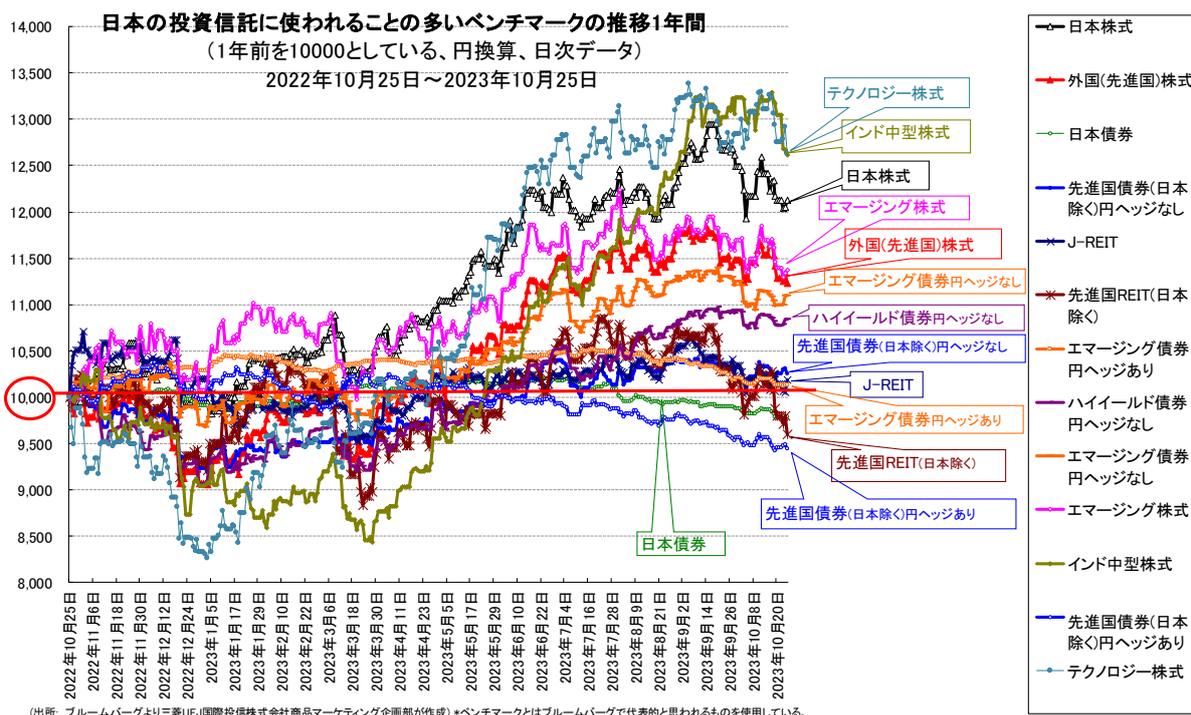
この最新2023年10月25日週の公募投信(除くETF)純設定額を分類別に見る。純流入1~5位は日本株大型ブレンド、グローバル株、北米株、インド株、グローバル株-日本を除く。純流出1~3位はエマージング・グローバル債、商品、グローバル株-円ヘッジ。

● 日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2023-10-25現在
 *ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	Japan Large-Cap Blend Equity	+61,208	-6,972	+234,921	7,718,312	日本株大型ブレンド
2	World Equity	+24,914	+34,354	+174,201	18,093,052	グローバル株
3	North America Equity	+21,155	+70,878	+211,713	12,622,137	北米株
4	India Equity	+17,213	+22,110	+78,180	1,796,634	インド株
5	World ex-Japan Equity	+16,474	+30,021	+100,912	7,816,915	グローバル株-日本を除く
6	Trading - Leveraged/Inverse Equity	+12,309	-8,842	+25,010	527,926	トレーディングレバレッジド/インバース株
7	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+10,860	+8,465	+32,443	897,210	日本中小型バリュー株
8	World High Yield Bond US	+4,245	+3,321	+14,863	1,211,014	米国ハイイールド債
9	World ex-Japan Equity - JPY Hedged	+4,144	-201	+3,620	381,362	グローバル株・日本を除く-円ヘッジ
10	Japan Large-Cap Value Equity	+3,876	+3,624	+12,992	208,299	日本株大型バリュー
84	Japan Money Market	-2,583	+1,440	-6,986	35,265	日本マネー
85	Conservative Allocation	-4,165	-3,396	-1,461	2,113,444	コンサバティブ・アセットアロケーション
86	World Bond - JPY Hedged	-5,467	-4,309	-13,098	1,887,869	グローバル債-円ヘッジ
87	North America Equity - JPY Hedged	-5,538	-6,215	-18,867	865,079	北米株-円ヘッジ
88	Risk Control Allocation	-6,027	-3,560	-14,075	1,343,146	リスクコントロール・アセットアロケーション
89	World REIT	-6,857	+912	+7,280	1,567,712	グローバルREIT
90	Alt-Multistrategy	-7,650	+721	-19,290	704,512	オルタナティブ・マルチストラテジー
91	World Equity - JPY Hedged	-7,692	-11,820	-28,843	1,330,430	グローバル株-円ヘッジ
92	Commodity	-9,173	+2,980	+428	608,282	商品
93	Emerging Global Bond - USD	-9,458	+481	-6,806	188,352	エマージング・グローバル債
全93分類の合計		+112,334	+151,235	+1,066,311	99,224,113	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-1.78	-0.54	-4.43		
S&P500		-2.95	-1.41	-1.96		
MSCI ワールド		-2.78	-1.63	-2.27		

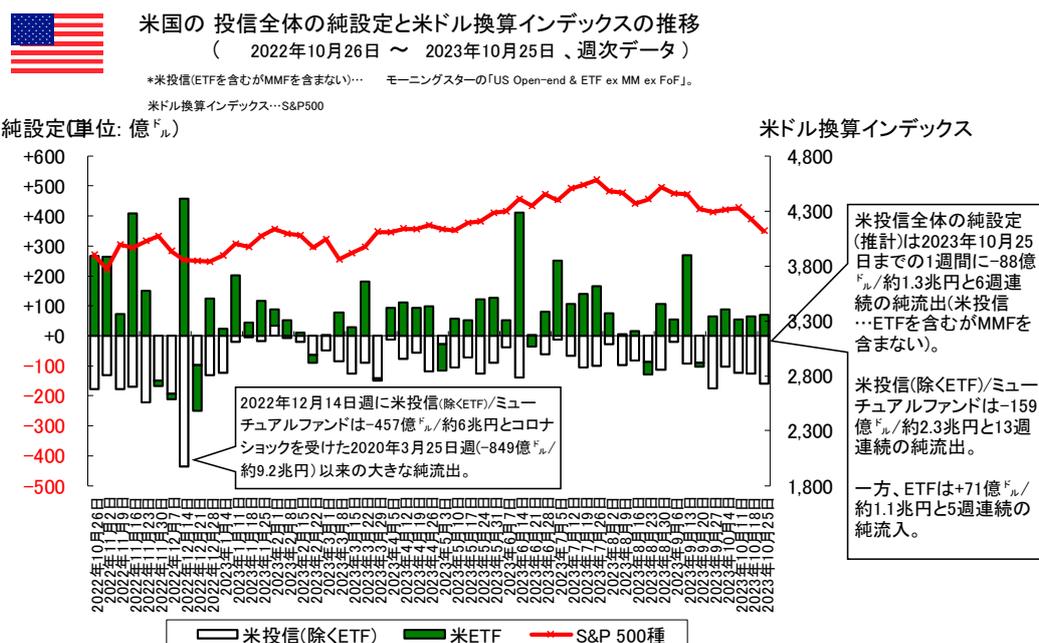
(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

日本株やインド株の純流入は相対的にパフォーマンスが好調であると思われる(下記グラフは直近1年間)。



●米国の投信が総じて純流出の中、ウォール街で今、最もホットな投資の一つと言われる“ボロボロ”の長期国債ファンドに過去最大級の純流入！ ～モーニングスターによるとESGファンドが2020年以降初の純流出～

米投信全体の純設定(推計)は2023年10月25日までの1週間に-88億 ドル /約1.3兆円と6週連続の純流出(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-159億 ドル /約2.3兆円と13週連続の純流出**。一方、**ETFは+71億 ドル /約1.1兆円と5週連続の純流入**となった。



(出所: ブルームバーグ及びイボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)
*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2023年10月25日週の投信全体純設定額を分類別に見る。**米国株は-12億 ドル と、2週ぶり純流出**。外国株も-34億 ドル と7週連続の純流出で、1か月ぶりの大きな純流出。**債券は-29億 ドル と2週連続の純流出で加速傾向**。一方、**セクター株が+7億 ドル と8週ぶり、コモディティは+9億 ドル と22週ぶり純流入**。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は次頁の通り。**純流入1～3位は米国長期国債(6年超)、米国大型ブренд株(S&P500連動など)、エネルギー株(非MLP)**。

1位の米国長期国債(6年超)について、ロイターはバンク・オブ・アメリカ(BofA)グローバル・リサーチのレポートを引用し「米長期国債ファンドには過去最大の56億 ドル が流入。短期国債への流入ペースは鈍った。『現在のフローの最大のテーマは国債のデュレーション長期化に資金が引き寄せられていることだ』」(2023年10月27日付ロイター「米長期国債とハイテク株に資金流入＝BofA週間調査」～<https://www.newsweek-japan.jp/headlines/business/2023/10/470262.php>)と報じていた。

2023年10月29日付WSJは「ウォール街で最もホットな投資の一つは、意外な事に、『ボロボロ』の長期国債ファンドだ/One of the hottest investments on Wall Street is something of a surprise—it’s a battered long-dated Treasury bond fund. 『シェアーズ米国国債20年超ETF/iShares 20+ Year Treasury Bond ETF(ティッカー:TLT)』は16年ぶりの安値付近にあり、2020年のピーク時から価値の半分以下を失っている。だが、投資家は続々と集まっている。10月24日と10月25日だけで同ファンドに20億 ドル 以上の流入があり、年間の流入額は210億 ドル となった。長期米国債にパンプ投資しており、現在の利回りは約5%で、30年国債と同水準だ。」

今年、他の債券ETFや、株式ファンド(2本を除く)よりも多くの資金が流入している。投資家の行動で珍しいのは、ファンドのフローがほぼ常にパフォーマンスに追随する事だ。しかしこのケースでは、利回りはピークに近づき、今後低下すると予想する人もいて、議論はウォール街で激化しており、金融市場の見通しの鍵となっている。利回り低下は「シエアーズ米国国債20年超ETF/iShares 20+ Year Treasury Bond ETF(ティッカー-TLT)」投資家にとっては有利であり、市場の他の部分が低迷した場合にファンドが避難所としての地位を取り戻す事を期待して購入している投資家もいるかもしれない。また、ハイテク株など金利に敏感なセクターの魅力がさらに高まる可能性もある。」(2023年

10月29日付WSJ「Buy the Dip' Investing Mantra Lives On -- in the Bond Market at Least」~<https://www.wsj.com/finance/investing/buy-the-dip-investing-mantra-lives-on-in-the-bond-market-at-least-b5d2996f>と報じる。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2023-10-25現在

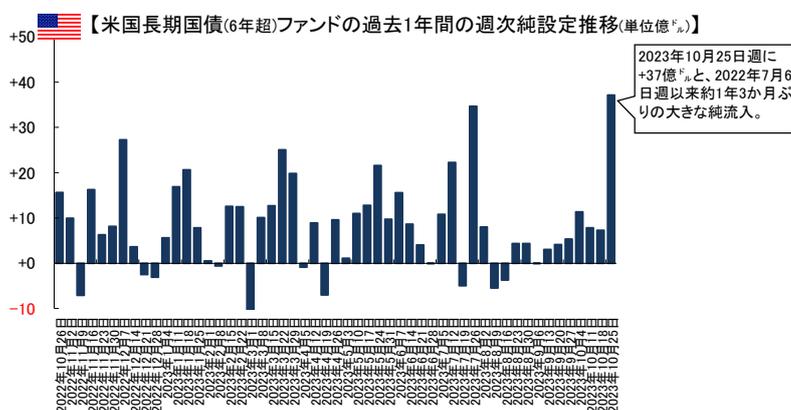
*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	Long Government	+3,717	+730	+6,363	99,890	米国長期国債(6年超)
2	Large Blend	+3,541	+1,362	+6,736	3,123,844	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
3	Equity Energy	+2,242	+900	+3,344	68,921	エネルギー株(非MLP)
4	Ultrashort Bond	+2,003	+1,605	+11,846	302,016	米国超短期債
5	Intermediate Government	+1,824	+830	+4,636	174,254	米国中長期国債(4-6年)
6	Technology	+939	-944	+186	231,292	米国テクノロジー株
7	Commodities Focused	+923	-1,272	-1,572	111,952	商品・フォーカス
8	Options Trading	+555	+9	+1,749	64,743	オプション・トレーディング
9	Foreign Large Blend	+423	+196	+2,025	793,797	外国大型ブレンド株
10	Target Maturity	+271	+79	+407	34,493	ターゲット・マチュリティ
112	High Yield Bond	-928	-1,970	-7,026	223,365	米国ハイイールド債
113	Intermediate Core-Plus Bond	-1,037	-3,142	-4,114	520,995	米国中長期コアプラス債
114	Financial	-1,066	+115	-1,484	56,284	金融株
115	Inflation-Protected Bond	-1,175	-228	-1,618	114,022	米国インフレ連動債
116	Trading--Inverse Equity	-1,246	+192	-1,758	16,271	トレーディングインバース株式(ベア型)
117	Large Growth	-1,314	+706	-948	1,555,292	米国大型グロース株
118	Large Value	-1,809	-1,417	-5,340	1,173,334	米国大型バリュー株
119	Foreign Large Growth	-1,968	-223	-2,712	322,060	外国株大型グロース株
120	Short-Term Bond	-2,280	-1,988	-6,372	326,892	米国短期債
121	Corporate Bond	-2,320	-115	-2,872	128,167	社債
	全121分類の合計	-8,839	-6,117	-23,317	15,738,690	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-1.78	-0.54	-4.43		
	S&P500	-2.95	-1.41	-1.96		
	MSCI ワールド	-2.78	-1.63	-2.27		

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

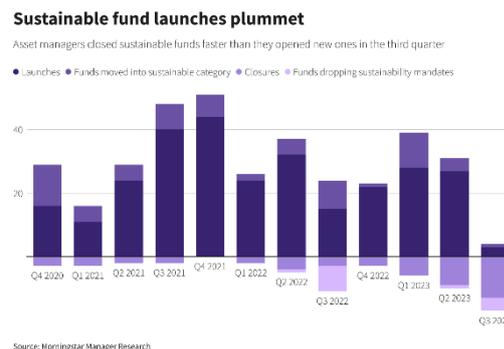
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

米国長期国債(6年超)の純設定(推計)は最新10月25日週に+37億ドル/約5562億円と、週次データが統計で遡れる2009年6月以来2番目に大きな純流入となり、全121分類中1位(最大が2021年12月8日週+39億ドル、次いで2023年10月25日週+37億ドル、3番目が2022年7月6日週+35億ドル)。



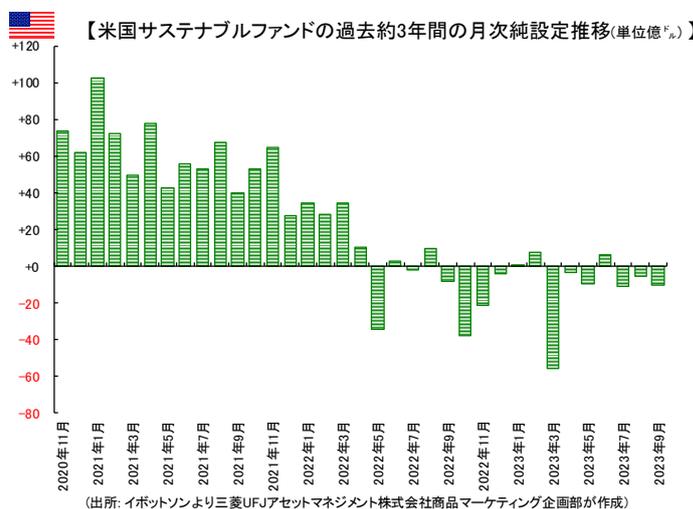
(出所: イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

なお、2023年10月24日のロイターに「ESGファンド、米で解約が設定上回る 2020年以降初＝調査会社」という記事があった(<https://jp.reuters.com/markets/japan/funds/5APAH37UZ5PTNJ37LML2KBIQI-2023-10-24/>)。一部を引用すると、「米調査会社モーニングスターが23日に公表したデータによると、過去3カ月、米国でESG(環境・社会・企業統治)に焦点を当てたファンドの解約数が新規設定を上回った。ESGファンドを巡っては、規制当局が商品の販売方法などへの監視を強化する中、2021年のブーム以降魅力が低下している。シカゴを拠点とするリサーチャー、アリッサ・スタンキウィッツ氏は9月までの3カ月間『初めて持続可能なファンドの解約が新規設定ファンドを上回った』と指摘した。…(略)…」。



これは2023年10月23日に米国モーニングスター/Morningstarが発表した米国サステナブルファンドの2023年第3四半期フローレポートである(2023年10月23日付Morningstar「Global Sustainable Fund Flows: Q3 2023 in Review」～ <https://www.morningstar.com/lp/us-sustainable-fund-flows>)。モーニングスターのモーニングスター・マネージャー・リサーチ/Morningstar Manager Research部門のアリッサ・スタンキウィッツ/Alyssa Stankiewicz氏によるもの。レポートには豊富な図表やデータのほか、サステナブル・ファンドの規制動向/U.S. Sustainable Funds: Regulatory Updatesについても出ているのでぜひ参照の事(米国モーニングスターについては2023年10月10日付日本版ISAの道 その388「資産運用に関するタスクフォースと資産運用立国分科会(評価会社、EMP、未上場株投信、資産運用フォーラム、企業年金改革)～日米英の家計金融資産における投信と年金の調査・分析～」～ https://www.ammf.jp/report/investigate/column_31818.pdf)。

モーニングスター「米国サステナブルファンド2023年第3四半期フローレポート」は四半期なので、投信調査レポートではフローを月次で見る。最新2023年9月に-10億ドルと3か月連続の純流出となっている。年初来(2023年1月～9月)で-81億ドル/約1.2兆円と、昨年2022年(1月～12月)の+14億ドル/約1840億円や2021年(1月～12月)の+707億ドル/約8.1兆円から鈍化、純流出が続いている。



世界のサステナブル・ファンドについては、2021年11月22日付日本版ISAの道 その346「グリーン・ボンド、グリーン・ファンド、グリーンISA～グリーン・ボンドとグリーン・ボンド・ファンド、ライト・グリーンとの8条ファンドとダーク・グリーンとの9条ファンド、NISAのモデルとなったISAでのグリーン投資～」(https://www.ammf.jp/text/oshirase_211122_2.pdf)、2021年5月31日付日本版ISAの道 その334「世界のサステナブル投資ファンド(最新のデータと規制)～日本のサステナブルファイナンス有識者会議報告書、欧州のサステナビリティ開示規制/SFDR、米国のESG投資&議決権行使ルールからテキサス州のアンチESG法まで～」(https://www.ammf.jp/text/oshirase_210531_2.pdf)、2020年11月6日付日本版ISAの道 その320「ESGはETF以来の革命、欧州でUCITS以来の最も重要な進化!? 米大統領選の結果により、米年金のESGルールはどうなる?～今は世界のESG投信データ等、ESGについて幅広く調査・研究をしていく時(欧米の政治などをしっかり見ながら)～」(https://www.ammf.jp/text/oshirase_201106.pdf)を参照の事。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会